

平成30年度
姫路日ノ本短期大学 免許法認定講習
募集要項

姫路日ノ本短期大学

平成30年度
姫路日ノ本短期大学
免許法認定講習

1. 目的

一定の教員経験年数と単位の修得によって、上位の免許状等を取得するための機会を提供するため。

2. 受講資格

幼稚園教諭二種免許状又は小学校教諭普通免許状を有していること。

3. 開講科目

	開講科目名	単位	科目		各科目に含める 必要事項	開講日
1	保育内容研究 「人間関係」	2	教職	教育課程及び指導法に関する科目	保育内容の指導法	7月30日 8月6・10・17日 24・27・29・31日
2	子どもと生活	2	教科	生活		7月30日 8月8・10・17日 24・27・29・31日
3	保育相談特論	1	教職	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	7月31日 8月7・9・30日
4	保育内容特論	2	教職	教育課程及び指導法に関する科目	保育内容の指導法	8月2・20・21日
5	教育心理学特論	2	教職	教育の基礎理論に関する科目	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）	9月15・22日 10月6・13・20日 27日 11月17・24日

6	保育内容研究 「表現」	1	教職	教育課程及び指導法に 関する科目	保育内容の指導 法	10月13・27日 11月24日
---	----------------	---	----	---------------------	--------------	---------------------

■ 上位免許状（一種免許状）取得に必要な単位（免許法別表第三）

12年以上の経験年数がある場合（短大卒）、一種免許状に必要な単位数は10単位です。単位は、二種免許状取得後に修得した単位が対象となりますので、毎年少しずつ単位を積み重ねることが可能です。

経験年数	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年
短大卒			45	40	35	30	25	20	15	10
(注)大卒等	25	20	15	10						

(注) ①大学に3年以上在学し、かつ、93単位以上修得 又は

②大学に2年以上及び大学の専攻科に1年以上在学し、かつ、93単位以上修得

■ 上位免許状取得の10単位の履修の内訳（免許法別表第三、兵庫県教育委員会規定）

履修の内訳は都道府県で異なります。各都道府県教育委員会にお問い合わせください。

以下は兵庫県の場合です。

必要修得単位数	教科に関する科目	教職に関する科目				教科又は教職に関する科目
		教職の意義等に関する科目、教育の基礎理論に関する科目	保育内容の指導法	教育課程の意義及び編成の方法、教育の方法及び技術	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	
10単位	1単位	1単位	5単位	1単位	2単位	

■ 隣接学校種免許状取得（免許併有）に必要な単位（免許法別表第八、施行規則十八条の二）

受けようとする免許状	有している免許状	必要最低在職年数	必要修得単位数	教職に関する科目			
				教育課程及び指導法に関する科目			生徒指導、教育相談に関する科目
				各教科の指導法	保育内容の指導法	道徳の指導法	
幼稚園教諭二種免許状	小学校教諭普通免許状	3年	6	—	6(注)	—	—

(注)「健康、人間関係、環境、言葉、表現」の5領域すべて含めることが必要

4. 開講科目の概要

	開講科目名	科目の概要	担当講師
1	保育内容研究 「人間関係」	周囲の人と協力し合って社会生活を営んでいくためには、幼児期に人とのかかわりの基礎を培うことがきわめて重要である。子どもは生活の中で、人とのかかわりをどのような過程を経て発達させていくのか、また、それを支える保育者の援助はどうあるべきなのか等、「人間関係」領域の指導法を学ぶ。	中重 直俊 (幼児教育科准教授)
2	子どもと生活	今日の子どもたちを取り巻く社会問題、学校現場の状況や子どもの様子を把握するとともに、幼児教育と小学校教育との連続性を踏まえた体験的な活動の必要性等について検討する。さらに、小学校で学習する生活科の性質や目標についても理解を深め、生活科が新設されるまでの経緯及び意義について調べ、基礎的な理解を深める。	カルマール 良子 (幼児教育科非常勤講師)
3	保育相談特論	保育者の使命は、子どもの保育と、その保護者に対する保育に関する指導であり、地域の子育て支援である。ここに言う保育相談支援とは、保育の特性を活かした保護者支援であり、保育者は保育に関する相談に応じ、助言を行い、保護者が取るべき行動を具体的かつ直接的な形で示していくことである。そのために必要な知識・技術の修得はもとよりその応用力の向上に努めることが重要である。その実践のための体系化こそが保育相談特論である。	横田 郁子 (幼児教育科非常勤講師)
4	保育内容特論	幼稚園教育要領や保育指針に記載されている「創造性を豊かにする」に焦点をあて、「創造性を豊かにする」という考え方が起因した背景を講義によって理解し、人格形成を目的とした保育の内容に相応しい保育現場での幼児の生活や保育者の役割を、受講者全員でのグループワーク方式で考察、模擬保育を実施し、保育内容を深めることを目指す。	湊田 陽子 (幼児教育科非常勤講師)
5	教育心理学特論	子どもの成長や発達過程において、個人差も見られるが、多くの子どもに共通して認められる発達段階ごとの特徴がある。子どもの豊かで健やかな心身の成長や発達を育むと共に、日々の生活の中での発達段階に応じた教育が必要である。その方法を心理学的に捉え学習する。心の状況(状態)は、子どもの行動や言葉、そして、態度などに見ることができる。	辻野 順子 (幼児教育科教授)

		心の状況（状態）を鑑みながら効果的な教育の方法を考察する。	
6	保育内容研究 「表現」	創造性や豊かな感性・美的情操等に関わる子どもの表現活動を、理解し援助する保育者の役割は大きい。海外の幼児教育を参考にしながら、日々の保育活動で実践できる季節の造形活動、子どもと保育者で演じる人形劇に関して学び、自身の創造力・表現力・美的感覚を高めることをねらいとする。	カルマール 良子 (幼児教育科非常勤講師)

5. 時間割

< 1 保育内容研究「人間関係」 >

開講日	9 : 30～9 : 40	9 : 40～11 : 10	11 : 20～12 : 50
7月30日(月)	オリエンテーション	演習①	演習②
8月6日(月)	/	演習③	演習④
8月10日(金)		演習⑤	演習⑥
8月17日(金)		演習⑦	演習⑧
8月24日(金)		演習⑨	演習⑩
8月27日(月)		演習⑪	演習⑫
8月29日(水)		演習⑬	演習⑭
8月31日(金)		演習⑮	試験

< 2 子どもと生活 >

開講日			
7月30日(月)	オリエンテーション (13 : 40～13 : 50)	演習① (13 : 50～15 : 20)	演習② (15 : 30～17 : 00)
8月8日(水)	/	演習③ (13 : 40～15 : 10)	演習④ (15 : 20～16 : 50)
8月10日(金)		演習⑤ (13 : 40～15 : 10)	演習⑥ (15 : 20～16 : 50)
8月17日(金)		演習⑦ (13 : 40～15 : 10)	演習⑧ (15 : 20～16 : 50)
8月24日(金)		演習⑨ (13 : 40～15 : 10)	演習⑩ (15 : 20～16 : 50)
8月27日(月)		演習⑪ (13 : 40～15 : 10)	演習⑫ (15 : 20～16 : 50)
8月29日(水)		演習⑬ (13 : 40～15 : 10)	演習⑭ (15 : 20～16 : 50)
8月31日(金)		演習⑮	

		(13:40~15:10)	
9月21日(金)	レポート提出期限		

< 3 保育相談特論 >

開講日			
7月31日(火)	オリエンテーション (9:30~9:40)	講義① (9:40~11:10)	講義② (11:20~12:50)
8月7日(火)		講義③ (9:40~11:10)	講義④ (11:20~12:50)
8月9日(木)		講義⑤ (9:40~11:10)	講義⑥ (11:20~12:50)
8月30日(木)		講義⑦ (9:40~11:10)	講義⑧ (11:20~12:05)
9月21日(金)	レポート提出期限		

< 4 保育内容特論 >

開講日	9:30~9:40	9:40~11:10	11:20~12:50	13:40~15:10	15:20~16:50	17:00~18:30
8月2日(木)	オリエンテーション	演習①	演習②	演習③	演習④	演習⑤
8月20日(月)		演習⑥	演習⑦	演習⑧	演習⑨	演習⑩
8月21日(火)		演習⑪	演習⑫	演習⑬	演習⑭	演習⑮
9月5日(水)	レポート提出期限					

< 5 教育心理学特論 >

開講日	9:30~9:40	9:40~11:10	11:20~12:50
9月15日(土)	オリエンテーション	講義①	講義②
9月22日(土)		講義③	講義④
10月6日(土)		講義⑤	講義⑥
10月13日(土)		講義⑦	講義⑧
10月20日(土)		講義⑨	講義⑩
10月27日(土)		講義⑪	講義⑫
11月17日(土)		講義⑬	講義⑭
11月24日(土)		講義⑮	試験

< 6 保育内容研究「表現」 >

開講日				
10月13日(土)	オリエンテーション (13:40~13:50)	演習① (13:50~15:20)	演習② (15:30~17:00)	演習③ (17:10~17:55)
10月27日(土)		演習④ (13:40~15:10)	演習⑤ (15:20~16:50)	演習⑥ (17:00~17:45)
11月24日(土)		演習⑦ (13:40~15:10)	演習⑧ (15:20~16:50)	演習⑨ (17:00~17:45)
12月20日(木)		レポート提出期限		

6. 会場

姫路日ノ本短期大学

7. 定員

各20名

8. 受講料

1 単位科目 10,000円(保育相談特論、保育内容研究「表現」)

2 単位科目 20,000円(保育内容研究「人間関係」、子どもと生活
保育内容特論、教育心理学特論)

9. 受講申込について

(1) 受講申込に必要な書類を提出期間内に本学宛郵送してください。

① 受講申込書(本学ホームページからダウンロードしてください。)

(写真貼付(4cm×3cm))

② 返信用封筒

(140円切手貼付、住所及び宛名を記入した、A4が折らずに入る角2サイズの封筒)

③ 写真(4cm×3cm)(①使用分とは別に、受講票貼付用として)

(2) 書類提出期間

平成30年7月10日(火) ~ 7月23日(月)(必着)

(3) 受講料の振込について

受講申込で受講を可とされた方は、受講料の振込案内についてメールで通知します。

平成30年7月27日(金)までの振り込みをお願い致します。

10. お問い合わせ先

姫路日ノ本短期大学 教務学生課

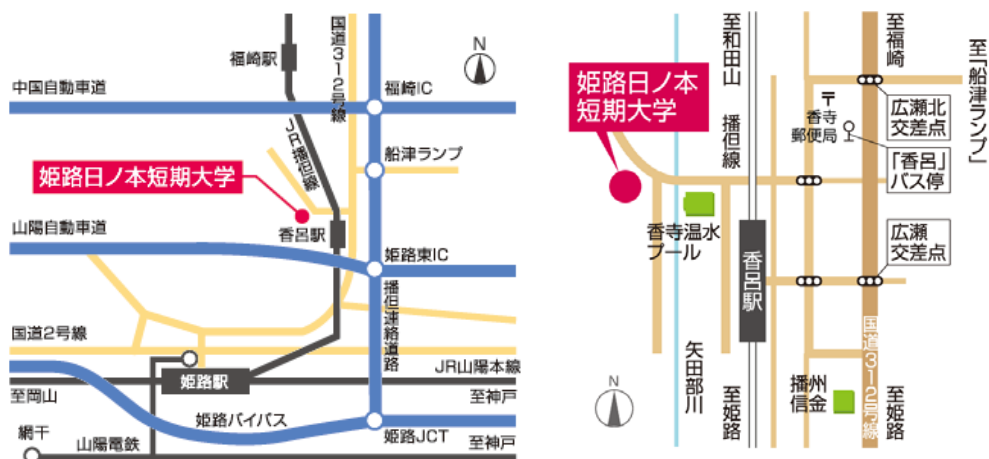
〒679-2151 姫路市香寺町香呂 890

TEL 079-232-4140 FAX 079-232-8309

E-mail nintei@himeji-hc.ac.jp

11. 交通アクセス

- JR利用の場合 JR 姫路駅から播但線乗車 香呂駅下車徒歩約 12 分
- マイカー利用の場合 播但連絡道路 船津ランプ出口



12. 出席時数について

単位認定試験を受験するためには、各科目の全授業回数の4/5以上の出席が必要となります。

2単位科目（全15回）・・・12回以上の出席が必要（3回を超える欠席は受験不可）

（注）1単位科目（全7.5回）・・・6回以上の出席が必要（1.5回を超える欠席は受験不可）

（注）0.5回の授業時間は45分間です。

「平成30年度 免許法認定講習」申込書

ふりがな 氏 名	
生 年 月 日	昭和 / 平成 年 月 日生
住 所	〒 -
電 話 番 号	(自宅) - -
	(携帯) - -
メールアドレス	
職 名	
現有免許状の種類	
勤 務 先 名 称	
勤務先住所	〒 - TEL (- -) FAX (- -)
受講科目	<p>受講を希望される科目の番号に○印を記入してください。</p> <p>1 保育内容研究「人間関係」</p> <p>2 子どもと生活</p> <p>3 保育相談特論</p> <p>4 保育内容特論</p> <p>5 教育心理学特論</p> <p>6 保育内容研究「表現」</p>

※この申込書の個人情報につきましては、本講習に関わる業務のみに使用いたします。